

この夏 節電をしよう

電力供給力不足の今、あなたの家庭などでも電気の使用について見直し、節電への行動を起こしませんか

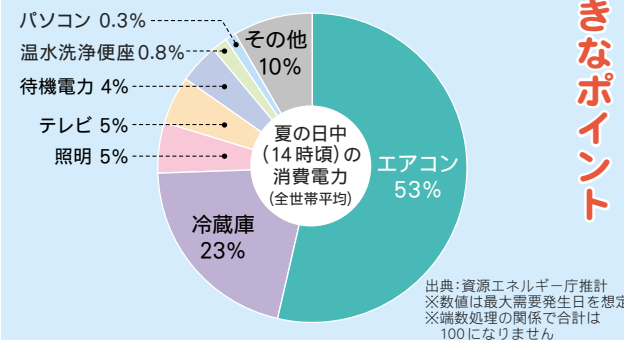
夏の（7月～9月）の平日9時～20時の使用電力**15%削減**に向けて

東日本大震災の影響による、東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故などで、電力の供給量が大幅に減少したことから、今年の夏の電力供給力不足が心配されています。電力会社も電気の供給力確保に向けて懸命に取り組んでおりますが、私たちのこれまでのような電気の使い方では大規模停電も招きかねません。

1年間で電力使用量がピークを迎えるのは「夏」です。この夏、節電を行うことが私たちにとって大切なこととなってきています。今後、各家庭で出来る効果的な節電方法により、使用電力15%削減に取り組んでいきましょう。

エアコンが節電の大きなポイント

毎年7月～9月の平日は、冷房による電力消費が増大しており、1日の中では午後2時頃が電力需要全体のピークとなっています。ピーク時間の電力消費の内訳はエアコンが約1/2を占めています。続いて消費電力の多いのが冷蔵庫で全体の約1/5、次いで照明などの順となっております。



桜 川市役所の節電への取組 節電目標：対前年比で20%以上の減

実施期間：平成23年6月6日～9月30日

桜川市役所では、今夏に予想される電力供給力不足に対応するため、市役所庁舎等節電対策計画を策定し、職員一丸となって節電に取り組んでまいります。



緑のカーテン実施に伴う予算は、公金は使わず職員互助会から支出。ゴーヤ、朝顔などの種まき、苗植え、水の管理も職員で行います。



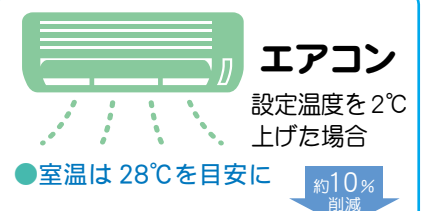
各庁舎の窓際にはネットが張られゴーヤなどの生育を待ちます。



ベランダのない場所へのプランター設置には、各課工夫を凝らしました。

主な節電の内容

- ◆共通の取り組み
 - ・使用しない電気製品のコンセントはプラグを抜くなど、不要な電気製品を使用しません。
 - ・使用中の電気製品は、「節電モード」に設定するなど可能な限り電力消費を抑えます。
 - ・電力需要がピークに達する7・8・9月の「10時30分～16時30分」の時間帯は、特に節電対策を徹底します。
 - ・クールビズを励行します。
 - ・ゴーヤ（にがうり）などの栽培による緑のカーテンを導入します。
 - ・マイボトルなどを持参し電気ポットの使用を控えます。
- ◆空調関係の取り組み
 - ・各施設の特性に合わせて独自の節電対策に取り組みます。
 - ◆施設内の空調
 - ・冷房の設定温度を28℃にします。原則、空調機の稼働時間を16時までとします。
 - ◆会議室の空調
 - ・少人数での大部屋の使用を出来るだけ控えます。



設定温度は高めにしましょう
●「すだれ」や「よしず」などを上手に活用
日よけにより窓からの日差しを和らげ、エアコンの消費電力を抑えましょう
●エアコンを消して扇風機を
無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使用しましょう
※エアコンの控えすぎによる熱中症に注意し、無理のない範囲で節電にご協力ください。



●設定温度の再確認を
「強」の場合は「中」に変更しましょう
●詰め込みすぎに注意
庫内は詰め込み過ぎないようにしましょう
●扉の開け閉めは短く、少なく
普段から庫内を整理して、閉開の時間や回数を減らしましょう



●照明はこまめに消灯を
日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう
●待機電力を減らすことも節電のポイント
リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切り、長時間使用しない機器についてはコンセントからプラグを抜きましょう

市の主な施設の消費電力量（単位：kWh）

施設	平成23年6月	平成22年6月	対前年比 (%)
市役所庁舎（3庁舎）	48,144	61,842	△22.1
ラスカ（グラウンド・プール含む）	10,442	42,262	△75.3
シトラス	4,534	4,922	△7.9

市の主な施設の消費電力量（6月分）を昨年と比較すると次のとおりです。今後も目標達成のため、職員一丸となり節電に取り組んでまいります。

